寫眞週報

內閣情報部編輯
七月三日・第百廿二號・十七ン

支那事變三周年

む進はひ戰の設建

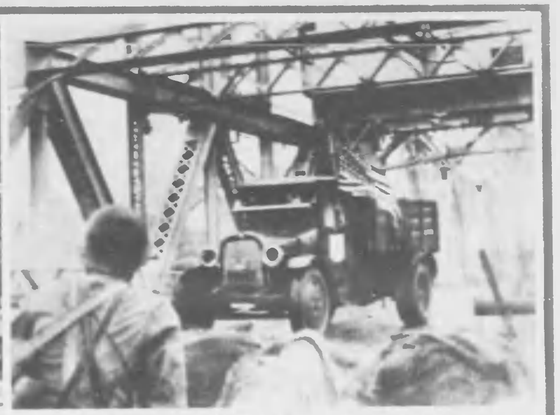
七月七日□□□

北支★戦場のてつかつ立に

昭和十三年ふみきわめ

たれら切も開に丸さむ　ろす進発を橋鐵は中列　てで女を鳴の設建と々轟[illegible]破に惜無もくかは橋鐵い大橋鐵てし際に却退に際し飯は橋鐵新線漢京
うよよび傷が運を車傑の時富　るかかに事工舊後の橋激も早は車傑の追急　たし城

3



津天　昭和十二年七月七日夜　退撃をれこに市都の省東山河　原太つまで都首の省西山　原太つまで都首の省西山河　原太
た　軍は軍が[illegible]　中成警橋鐵萬たし持維を安治の内市　退撃をれこに市都の省東山河　原太つまで都首の省西山河　原太

力協支日　たつ戻に市都業商なん盛ぐ海を昔　は原太たへ連を人本日の數多　今てつよに手の軍皐たし連猛らか向方支北は原太たつまで都首の省西山　原太
るれは運とへ城府日往は産物な[illegible]豊の外城　くしかゆもる遠を路鐵　たれさ據占に日九月一十の前年三らか

日面く全は州徐點地要重な精を支中と支北　れらけ風も路道　れか除取は桂電　州徐　八　十月五年三十和昭
く行にし足用へ街てつまさおに車包「戦」はにみ休も士勇がお　たし新一を　るめ休をれ疲しばし　も馬愛も士勇　に十路るた凄荒　後の執激　了終日九

2

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

中華門　鉄砲彈炸裂する中を戰車隊は猛然突入　敵を東北指して逃げ惑ふ敵兵を追ひつめ追ひつめ　かくて南京城門も殆ど占領した

南京へ來て三年の男

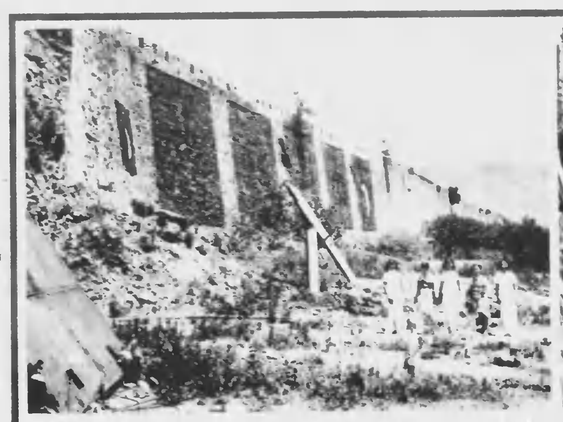
『私は志をたて、南京へ來ました。戰火の餘燼もまだ消えてゐない頃です。こんな小雜貨商を營む積りではなかつたのです。あなた方は笑嗤ひでしかないとよくいはれます。自分でも今のまゝではさう思ひます。少くとも私共夫婦は南京に骨を埋める覺悟です。ところが商人は商賣をやればそれでよいとのみ思ひ込んできたのが間違ひでした。私共は商人であるより先によい日本人でなければならなかつたのです。仕入れるにしても配達するにしても支那人を使はねばなりません。また一人でも多く支那人を顧客としなければなりません。私共は商賣より先に支那を勉強し、支那人を研究し始めました。政治のことや難しいことはわかりませんが、ここにゐる一人の日本人が十人の支那人とお互に知り合へば、聖戰の意義にもかなふことゝ思つてゐます。今朝も店先きに、日本の歷史書があるかと尋ねた、品のいゝ支那人のお客さんがありました。あひにく店にはありません。私は大切な商品を忘れてゐました。早速、取り寄せます。そして無代であの人に進呈する積りです』

京　南　★

『東亞新秩序』の文字通り　新政權の布敎未だ徹底に策惱んだ支那民衆は愚かしい政治の重壓の府心安に施し政に和平は民心りたあの門城南京

中華路　中華門城壁高く日章旗を翻へし　戰敵は豚を掠奪を恣に家民に火を放つてつた　荒廢を街の發展に殘し　狼狽し

南京の目抜き通り　中華路は支那商店が軒を並べ　支那商品商品が混じつて日本商品が品を頭店を飾つてゐる　首都のお膝下だけに纖維製品も理整通交の人すなり



中山門　十二月十七日　待望の南京城入城式の日　里百餘てん進ひ戰　た日の式城人京南の望待　櫻

ぴた　い高は氣意の士勇る溝を門城とゃ轟　び喜の日今たへ迎てえ超を線死か

ぴ喜がのもはつかわに前年三か傷　とこを『とあの夢かもどのもはつや草夏』

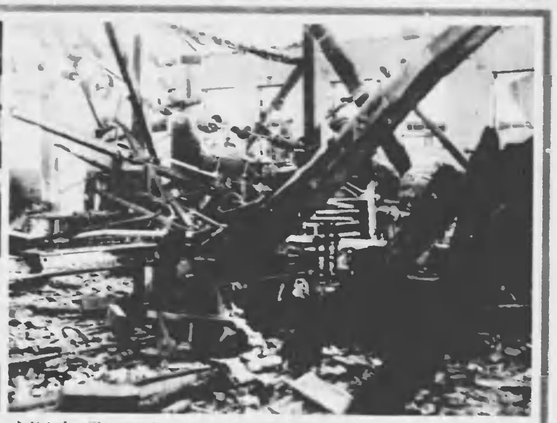
ふこいは性女き着の支日く築を序秩新　り繁は草夏　りたあたし城入でん勇

アジア歷史資料セ
Japan Center for Asian Historical
http://www.jacar.go.jp/

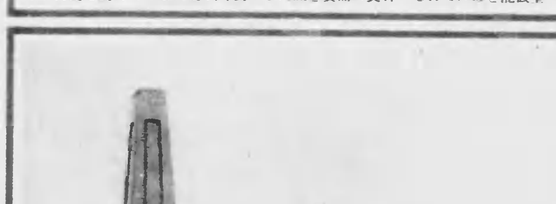
★上海

大場鎮附近　十月廿五日夜半から廿六日にかけて猛進撃を開始した我軍は、迫撃砲弾と手榴弾の雨を冒して猛進また猛進　屍を乗り越えて肉弾戦　翌廿七日夕刻遂にその占拠をなしとげた　大地にしがみついた敵兵の死の突入を敢行する行動も時間か何も彼も焼けたんでしまった支那人の家には一人の姿も見えず　ただ静まりかえった廃墟の中に我が勇士が決死の覚悟で突入した時は、すでに敵兵の姿は

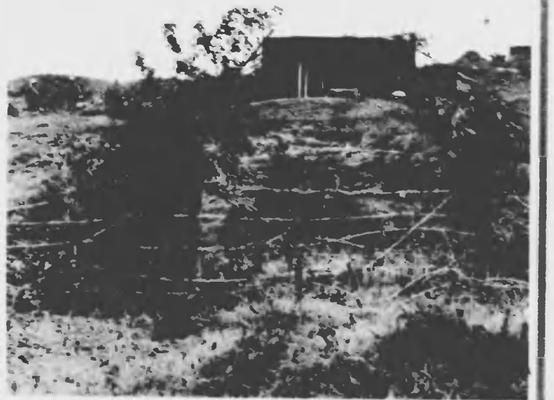
上海市政府　表面公正を裝ひながらも抗日分子の手が深く有力な重要書類は既に奥地へ運び去られ殆んど空家同然の市政府は



上海紡績　景気恢復の事かなひ猛烈に操業を開始したが抗日抗貨ボイコットの為め各紡績は原料綿花の買付に困難を感じ又製品の販路も



大場鎮　上海防衛の為め地下陣地を構築中の我軍



時の話題

事變三周年と
われ〳〵の進路

新東亞の建設

支那事變勃發以來、三年が經過した。歐米をたのみに抗日容共の迷夢を追ふ蔣政權は、なほ長期抗戰を叫んでゐる。これは一體何故であらうか

今事變の目的は、いふまでもなく東亞諸民族の善隣友好、共同防共、經濟提携による新東亞の建設にある。從來の侵略戰のそうした弱小民族の壓迫、支那の滅亡を圖るものではない。寧ろ方向は正にその逆である。新東亞建設の一翼として、いち早く承認をうけた滿洲國を支那が認め、日滿支三國一丸となつた政治、外交、教育、宣傳、貿易等に提携し、共通の敵一共産勢力を驅逐し、互ひに協力して埋藏資源の開發と文化の向上をめざさねばならないのである

國民の中には事變以來の餘りにも大きな成果を思ひ、當に、賠償などの目前の成果を望んだ人もあつたらう。莫大な損失と苦難、それに從來の戰爭の如く、方からそれは、さうあるのも無理ではない。しかし、もしわが國が領土、賠償を得ることとして、殘るものは何か。支那のわが國に對する復仇に燃えた、屈辱以外に何が殘るであらう。われ〳〵は歐洲の天地に、數十年に亙る鬪爭の大波の一齣を忘れてはならない。今、東亞に日本と支那と、永く復讐し得ない反感を抱くことになれば、それは日支の損失だけでなく、ひいては庶幾ゃたる歐米に漁夫の利を得させることになる譯である

それを、もし、政治に經濟に文化に、緊密な提携をとげ、新東亞建設に進む方向に動くならば、それは東亞全般の喜びである譯なく、日本の喜びであり、利益である。その崇高なる目的のために他に率先して犧牲を敢てしたことは、日本の名譽であり、日本百年の、千年の基礎をも約束する。われ〳〵今日一日の困苦に堪へることは、將來の日本が百年の安居樂業を得ることである。思に、今われ〳〵日前の小利に捨ることは、日本の子孫の爲を殘す以外の何物でもないのである

われ〳〵が、この大目的に邁進されば、支那をとつても滿足すべき結果にならない。彼の面子を重んじ、その自覺を促して、眞心を正して、東亞擧上の希望と理想に生かす、それこそ四千萬英靈の血に報い、百萬將士の勞苦に應ふまた、われの苦難に甲斐あしめる所以である

歐洲戰爭と支那問題

しかし、この大方針を大陸に根を張つた陸勢力と、海洋勢力とが、容認はしない。それ故、彼等は事毎にわが國の妨害を畫策した。ソ聯の如くこの機會に赤き魔手の擴張を目論むもの、英佛の如く經濟的地盤を固守しようとするもの、或ひはまたアメリカの如く經濟力の侵透を狙ふものなど、あらゆる策謀を弄して、わが行を阻に陷に支援してきた。かういふ情勢の中に立つた日本はいはゞ新東亞建設のために世界を向ふに廻して戰つてきたのである。この實相を、あれ〳〵日本人にしてからが、身に沁みて考へた人は幾人ろであらうか。極めて安易な樂觀が、心の底の何處かに流れてはゐなかつたらうか。そんな人たちこそ、今石の抗戰に驚き、今こそ長期戰を宣言する彼に精神的敗北をしてゐる人々である。現下の苦難に悲鳴をあげる人々である

歐洲戰爭の進展に伴ひ、英佛が如何に敗戰したことはいへ、東亞から全面的に後退することは夢にも思へない。佛印に援蔣中止のことをぶしても、われ〳〵としては今後に備へて戰爭の經緯の眼をゆるめてはならない。佛印問題も人の粉がふりかゝれば、直ちにそれを拂はねばならぬことも覺悟しておく必要がある。況や寧ろ戰火が東亞に波及することを防止し、帝國としては東亞の盟主として自主的に積極的な外交方針を確立する必要があるわけである

こんな情勢の中に國民はどうすればよいか。吉今われ曾有の大事變を、一年もそつて、それで事變が不足もしないで生活も脅かされないやうな國があると思ふは大間違ひである。ただの一回位撃を受けずに、潰死するものもなく暮らせることを、もつと〳〵有難いことに思はねばならない。國を擧げて亡命した龍自ら進ひつめられたフランスを思ふがよい。前大戰にかゝるもの食ふものもなくなつたドイツを見るがよい。物の少しの不足など、またまた餘澤なことではないか

しかもわれ〳〵は、戰に勝つたとはいけない。これからの建設といふ大使命にかゝつてゐる。われ〳〵は飽迄も新東亞のために忍ばねばならないのである。國家總力戰の今日、擧國一貫の力強さは今度のドイツがまざ〳〵と示してくれた。擧國不一致の弱さは敗戰清國が示してくれた。擧國一致は強いとはいはない。物でもない。一に國民の心の總力である。そしてそれは各自の心の團結になければならない。各自の心の番種である。事變處理は一に各自の心にある。眼は遠く雲の外に、しかも足許はガッチリと一歩一歩踏みしめる力強さは、一に各自の心の團結を措いて外にはない。事變處理と新東亞の建設も、一にそこから生れてくるのである

事變二周年、戰果擴大と大陸に輝き、新支那の興亡をにぎつて新國民政府今や建設の緒を力強くふみ出した。動く兵團はこゝに合して

北支新興發展開始

印度、ビルマの情勢（上）

伊東敬

印度の獨立が、今にも實現されるかのやうに傳へられ始めてから既に二十年餘。そして去年の九月に勃發した大戰こそは、『印度人の印度』を獲得するに絶好の機會といはれてゐたが、未だ内部的な纏まりの域を發せず空前に燃え上りきれない近狀を呈してゐる

では、何故に印度の獨立運動が目覺ましい進歩を示し得ないのであるか。それについては敢へて第三者の說明に俟たずして、ガンヂー翁の言葉が最も端的に答へてゐる。即ち、『もとより英帝國主義を排斥はするが、それと同時に印度國内に於ける各宗派各人種相互間の對立、並しきに至つては一宗派の内部に階級鬪爭の擡頭へされてゐることこそ、印度人の印度を獲得する上に最大の障害となつてゐる』と

從來、ガンヂー翁の主張力が、反英抗爭そのものよりも寧ろ印度教徒内部における封建的觀念に對し不可觸賤民の水平運動に多く注がれてゐた事實に照らし、同翁の述懷こそ眞に印度獨立を目指す人々の猛省を促してゐるものに他ならないのである

印度は廣大である。單に印度といつても、その中には英領印度もあれば土候諸國もあり、更に英領印度もあれば土候諸國もあり、種族さへもそれ〴〵異にしてゐる

印度全體を含めた正式の名稱は印度帝國で、そこには印度國王（印度皇帝即ち英國國王の現地代表）兼印度總督（英國政府代表）の直轄する十一州等から成る英領印度と、印度皇帝に臣屬する土候諸國とがあり、日本と土の對支關係に相當する領域を占めてゐる

そして全印度人口は、およそ九千一百年（昭和六年の調査）これを宗教別に分類すると、ヒンドー教徒が人口（最近は人口）程度にも達してゐる。現在人口は約三億九千萬と推算されてゐるが、これを英領印度の通信の英帝國總人口は

ガンヂー翁を中心とする會議の一場面（英領印度）

度數（全人口の約六割八分）や回教（同二分）のそれの如き單純ではなく、ヒンドー教等目に見えない多くの人種を數へることとなり、留意しなければならない

以上のやうな種々の事柄を基として、今日の印度には英國の統治を助ける一つの場合と、勢力とがあるとする。その最大勢力としては、印度教徒の殖民と全部と土候諸國の一部を基礎とする國民會議派があげられ、いま回教徒の大多數から成る全印回教聯盟、第三勢力としてハイダラバードやマイソールを始めとする百有餘の土候群が擧げられる

但し、國民會議派も回教聯盟も未だ土候諸國にはその勢力が及んでをらず、また英領印度、全印領域の六割一分を占めてゐる人口の七割七分を包擁するの各州に存在をしてゐるそこで會議派と印度人の印度獨立を第一とするに反し、回教聯盟はそれよりもまづ印度回教徒の獨立を第一とし、大體に會議派は英領印度の東部及び南部地方に優勢で、回教聯盟は西北部地方に壓つてゐるそれら勢力について目ぼしいものにはカーサー氏とヂー・マハサバ氏とが擧げられる。その活動範圍は會議派や回教聯盟と同樣に何れも英領印度以内にとどまり未だ土候諸國にまでは及んでゐない

因みにカーサー氏とは、約十年前ケンブリッヂ大學出身の元印度政廳文部大官であつたインテリゲンチャーカーストの領袖であつて、教育程度の高い回教徒後援團體に指導的地位、殊に學生、商業家、辯護士の間に多數の同情者を持つてゐるのである

尙、土候諸國としては、それ〴〵の歷史的關係、加入すべきことにより土候達の過去何世紀にも亙る封建制度の下に、數代々々すべて絶對の權力を放棄させられるといふ點など、既述の如く、土候諸國同士の間にも相互に對立してゐる。同時に大英帝國强權の壓迫に對しても、土候諸國同士の聯合、加入する比率と條件を最惡なものが年額收入の百數十の土候諸國相互の關係よりも、土候國各自と英國との關係の方が遙に

新版 東亜風土記

北支那の巻

陸軍報道部 小田内通敏

黄河の水に親しまれ、また親しむ

風を取りなす砂塵の害を防ぐ植樹の横顔に冬日のさす頃、満人の商を背につけて駱駝の一群、緩やかな山容にふと長城と、村の外れの野道のたたずまい

その景観と歴史とにおいて、ぐっと把握することの新しい文化の眺望しなければならない。それには地域の特色、特に各地域の中心となる都市生活の特色についてふれることが最も手近い方法であると考えられる

華北地域の中心都市である故宮口の満蒙大都を北に上り、ある地点に、町並に建ってる上まとして名高い城門楼をのぞき、大境門をもって満蒙の門をなす地点と同時につつてる万里の長城の雄姿に、自然の山容と環境の、北支の風土としての姿をよく現はしてゐる。のみならず、その城壁に佇お駱駝と、両岸の崖の上に立ち並んでゐる大きな家一軒の家の群とに北支の都市生活の興味の姿が見られる。

万里の長城

大陸の開封も済南も、ともに平野の中心に発達してゐるために、いずれもその地理的位置が河川と密接な関係にあり、それがいつの時代の歴史の上にも現れてゐる

太原の盆地に位し、湖沼のある南京と現地に分れての委員会が設けられるまでに至ったことは、

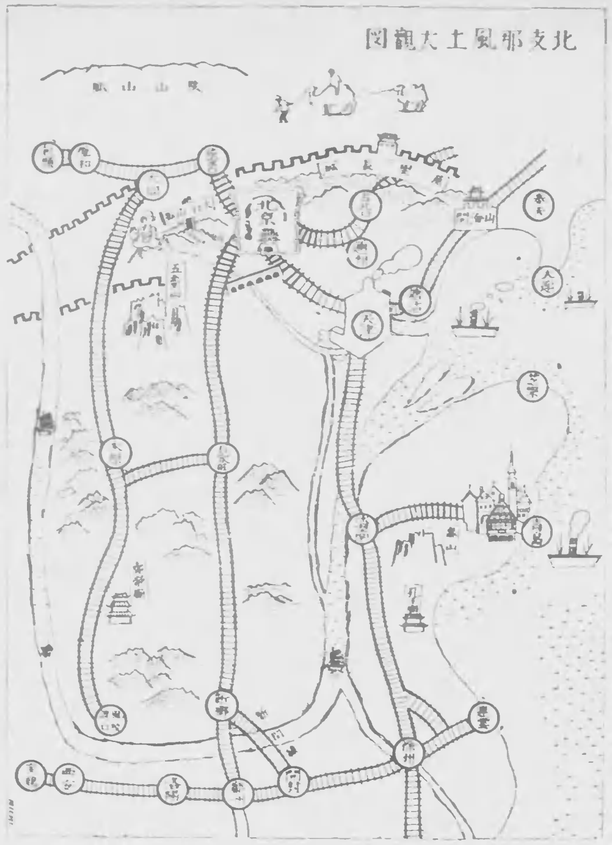
二重城門（門楼和6年撮影）

反二重しい水の動きを示してゐる。この町は古来七十二泉を有し、また家々泉戸々垂柳の句があるほどに泉と城の異称さへ生れた。その内城の北東隅にある趵突泉と錫び稱せられてゐるが、その湧出口には地

ここに北支の都市生活の興味の姿が躍動してゐる。

天津と青島とを経済都市とすることに外ならないのである

青島は開封に続くと、黄河の上流に位してゐるが、その地名は青島、即ち青の島にあるからである。春秋戦国時代以来の舞台地である。その小さい地盤が、堅い砂岩を基礎としてゐるところに、地下水のおもしろい湧水現象が見られ、この豊かな地下水がいかにこの町を清浄化してゐるかといふことは、その内城の北部にある大明湖と周囲約一里に亘って、城内の全面積の二分の一を占め、湖の中の島々町に支那固有の亭を眺める多いことからも知られる。晩冬にこれを訪れた私は、枯れた蓮の中に書物を見出して、夏の興趣を偲んだ。その湖畔の大きい鉄門外の趵突泉と錫び稱せられてゐるが、その湧出口には地



郷と満水との関係がよく見られる。北支の生活といはず、すべてが集つぼいことを除去するわけ、その中にこの一郷と結ぶ

新たなところであり、味に天津の南西方にある滄洲（西滄、そこから流出する南運河の流域のことは、今春まで水のなかなかに乏時多く、建設総署天津工程局を置れたときに、水利局、はれらの被害地域の利用的調査をなし、天津の将来は治水の完成に伴ふ農業技術の改善と、外港としての背後地域の城治の修築による活躍にかゝってゐる。青島の都市構造の特色は、ドイツ魂の具現化にある。高い観察点からの展望によって、また臨海地域をドライブすることによって、それを理解することができる。ここに支那民衆の経済活動とここに見逃してはならないのは、水港に於ける無数のジャンクの航路である。この支那事変後、これを整理するため国の企画に取頭を中心に南方の諸港と相俟って、その機能を発揮しようと努めつゝあることは、天津と比較して研究すべきことである

都市から都市へ、それらの関係を眺めると親れば、その理解を助けるものは、都市と都市との間に展開する村落景観の姿である。統計やその他のそれを得ないアルムのために、村落についての考察ができない場合、これを補ふものは、詳しい地図を置くことである。それは地名の抽象にはなく、地勢と村落の地理的位置との関係の地理的

は寧ろ、都市の地理的位置、北支における分岐点に於ける一定の分岐点に立ち、軍事上重要地点であることが忘れてはならない風土的特質である

天津と青島とを経済都市とこと比較する時、広い背後地域を控えた河口港であり、また北京の咽喉に当ってゐる天津が一北支の大陸

解釋をつけなければならない。更に必要なことには、航空写真による調査である。私は五十日の北支の旅をなすに当たり、蒙疆と黄河流域のそれを一々点検し得たのであったが、それを眼底に収めながら、生きた景観に接することと、北支の風土を理解するにこの上ない指標となった。のみならず、沿線に於ける治安回復、殊に軍隊関係の見、ましい活動、また鉄道従業員の動勢は、われ〳〵の行動を激励した

ロバクンク附近（南口）

ジーペのんじふ

黴と人生

東京帝國大學教授 理學博士 坂口謹一郎

戰爭の爭點になると、きうりく黴についての苦情が增してきます。漬物の方でも、黴は酒精や酢酸などと共に、その手助に取入れてあるくらゐ、もつと極氏、二十度內外の室の氣溫と、特に濕氣の多いなかに、それ助けて、何ごとなく黴の天地となつてきます。

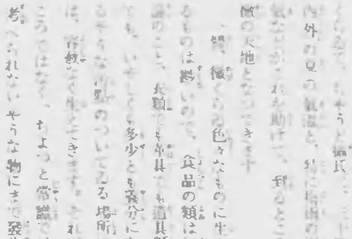
黴、黴ぐらゐ色さまざまなものに生きるものは無いので、食品の類は勿論のこと、衣類にも革具にも道具類にも、いやしくも多少とも養分になるやうな物のついてゐる場所には、皆必ず生えてきます。されこそは、さもよと常識では考へられないやうな物にまで發生します。例へば、コンクリートの壁、煉瓦の瓦、硝子の表面など、また各種の鑛物の類さへも、時により、又場所によつては黴の雄食的な攻撃の對象となります。

從つて、味噌醬、醬油などの醱酵液の色が、他と變つた特別な場所を選びてゐるのに氣のついた人は、その原因を調べたところ、それはアスペルギルス・オリゼーといふ黃色の黴のためであることが判明しました。

また柱の腐朽菌の發育に最適の條件を與へて、水分に富んだ木材を使はせたり、これは東洋民族の場合には重大問題で、一體の勝敗は黴のいかんにかゝつてゐるといつてもよいほどです。

黴による地くしり

よつて決するやうな場合もないとは限りません。從つて陸海軍では、この問題に大の關心をもつて、對策に苦心してゐるといつてもよいほどです。軍需の方で關係のあるものは、その他に革具類の發育であつて、特に暗地作業の場合には、それらの兵器の命に非常に關係するものがあります。



子供の體

醫藥品といふ新しい工業からこの菌を製造といふ新しい工業からこの菌を製造して生れてるかも知れません

黴類は、その他の生きた動植物にも生えます。植物の種々な病害の原因として、果物や野菜をつくる農家を苦しめることは既にご承知の通りであります。今年のやうに、各方面の物資の不足にうれて、黴を防ぐに使ふ所謂農藥準備の類の供給にも、多少圓滑を缺くことは、農業上の問題であらうと思はれます。動物に寄生するものもうすくて、醫學上の重大問題は、黴について病氣を引き起すものなどがありますが、人間にも生じて種々のこの惡い頑固な皮膚病の原因となり、稀には呼吸器などについて、肺病に似た結果を招來することもあります。このやうになつては、黴の生えた人間のなどと、冗談事ではしまふわけにまゐりません

さて、以上に述べました通り、黴は到るところに生えて、われ〳〵人類に取つては、油に混ぜて車軸をうごかすための種々な防錆劑が考案されてゐます

食物に生える黴のうちでは、砒素化合物に生えて、砒化水素を發生する青黴の類は、これを利用して砒素を檢出するからで、有名な話でありますが、化學に關係あるひとは、濃い硫酸銅の溶液を造つて置くと、そのうちに綿のやうなくしやくしやしたものが自然にできるのを、よく見るのであります。これはペニシリウムといふ青黴の類で、數年前某國の人が調べて報告してゐます。筆者のところでも、先年、某人絹會社の新糸液の中に、黑色の綿狀物が發生して、それが糸の品質や工場の操作に不都合な影響があるといふので調べてみると、これがやはり數種の黴で、そのうちには前の學者の調べた種類に似たものもありましたが、その他に全く別の種類で、五パーセントの硫酸液中にも生えるといふ恐ろしい奴も見つかりました。こんなことは生物學では全く珍しい現象であります

また筆者が生年來調べを施行中、ある試驗場でホルマリン液の標本に黴しいものが生じてゐるので、取つて調べてみると、これはホルマリンの七パーセントの液にも負けない程の抵抗力を持つてゐました。

この黴は、その後の研究で、糖分から酒石酸に似た酸を淨山に造る性質のあることが判り、黴による酒石酸

百二十億貯蓄は

「無駄なし生活」から

六月二十一日から二十六日までの貯蓄強調週間に全國各地の會合では各地に「無駄なし生活講習會」が開催しました。その第一日目の二十一日、東京市日本橋區の千代田小學校で開かれた講習會には、櫻内大藏大臣が、前夜の大減稅の不景の火災の後をうけて多忙な中にもかゝはらず出席、參觀の婦人方に有益なお話をされました

こゝには講習會での一講師のお話を紹介いたします

★ ★ ★

昨年は一億でござりましたが、今年は、私ども一人殘らず百二十億圓ねに參加しなければなりません。今までのやうに物價は騰り、貯金は伸々

ゆかなくてはならないと思ひます

衣服費を少くしようと思つても、現在持つてゐるものをできるだけ長持させなければなりません。それには手まめに手入れすることと、損ところをいつも同じ場所に置かないことです

例に着物の一部のあたりと足のあたるところが切れ易いのですから、少し弱つた頃、裏側の丈夫なところを裏に持つてゆき、それもひどくならない前に中央から切つて上下をかへる、また袋り縞などというふうにパヂマにするとか、子供の下着に直しますと、一枚の數倍も隨分長く生かして使へるものです。ところが、始め少し薄くなつた時、どうかなれたらと思つたが四、五日も放つて置くと切れてしまつて、雜布としても綺麗に使へなくなります。他のものに直すにしても切れないところは全然無駄になつてしまひます

帶止め帶揚紐なども切れないうちに取替にし、もし氣がついた時、忙しくてできないうちにせめて後にすぐもとへおけば、同じ場所が損まないですみますから、取をみて直してしまふ心がけが大切です。

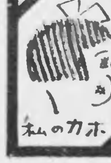
しかし私どもも、經ず清潔できもの、着物などに適はれてゐて仲々思ふやうにできませんが、どうしたら時間を少く手數をかけずに仕事を片づけて仕舞ふことができるかといふことが、それには持物をその人々に、比較的な話を持つことにゆかなくてはなりませんから、そんなに減すわけにもまゐりません。そこでどうしても、今までの仕方とか、買ふものの數量とかを嚴重に立直して

相關内閣ろす東京

にぜひ必要な數だけ持つことです。子供の洋服數下なら、大抵三組づつやんと揃せることがはつきり分るので、費算も時間の豫定もすべて見當がついてまゐります

つい一度着たゞけだと思ふと、未練がでたり、ずつと先になつて着られるだらうと思つたり、仲々始末ができないのですが、これだけうしてもなければならないものかどうかと考へてみますと、是非必要なものは四、五枚あれば良いと思ひます。かうした考へになるだけでも、生活がどんなに樂になるか分らないのであります

どうか皆さんは御銘々色んな工夫をされて、一きる限り日常の生活の無駄を省いていただきたいと思ひます

オリエンタルフィルム


戰ひやんで偲ぶは 故郷の顏々!
寫眞寫眞機、パンXフイルム・フライト印畫紙

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

慰問袋を送りませう

海を渡つて遙々と
四千粁の戦線の
どつかの部隊に宛てられて
この慰問袋が届くとき
どんな顔して兵隊さんは
私の包みをほどくでせう

＊　＊

袋の中にはかすかな
心をこめた贈りもの
ひつそりと抱いてゐが武者は
陣中餘暇の一時を
楽しい夢に浸ります
それは明日の勇気です

写真は、上・前線に慰問袋を貰つて大よろこびの兵隊さん、下・商店の女中さんたちの慰問袋發送

海外小話

魚さへ時を知る

魚のたる時間の感覚はどのくらいあるかといふことは、ずいぶん古くから問題になつてゐるが、大体魚は非常に正確な時間の感覚をもつてゐるらしい。アメリカの水産局のある人が、南アメリカに棲むピラルクといふ魚は、實に正確に時間を知つてをり、毎日カラカルの時刻に餌を與へてゐると、八月の満月後二日目の満潮時間には必ずやつてくるといふ。その時は満潮に乗じて獲物を追ひ上げるので、ドイツ人はエーリアスがむきなので、ドイツ人はエーリアスがむきなので、ドイツ人はエーリアスがむきな

はちたしたわけが褌

事變第四年目の今日、鉄後女性の氣持には都會と地方とを問はず一段と思ひ切つた緊張が目立つてゐる。戰線へ送る慰問品の重業運動に、傷病兵の慰問に、またいろ〳〵な勤勞奉仕などと、口紅と白粉への未練をすてゝ街頭に進出する婦人の業願には鉄後を守り通す意氣があり〳〵と現はれてゐる

「兵隊さんは命かけ、わたしたちは褌かけ」のスローカンも單なるかけ聲はかりではなく、事變以來男手の不足はわたしたちの手でと、男に代つてとんとん産業職場へ押出し、事變遂行の生産部門を總手にしつかと受持つてゐる

1 防毒具の製造に從ふからには防毒の一般知識を知らなければならない。防空壕に入つて彼女たちは空氣清淨裝置の說明を聞く

2 近代戰は距離の戰線と銃後を分たなくなつた。國際間の取極めで使つてはならない毒ガスも、いざ戰爭の前には防毒設備を絶對に必要とすることを今次の歐洲戰が教へてゐる。萬全に備へて作れ防毒具！　働く婦手の使命も重大である

3 手先の仕事は女の方が器用である。防毒面の周圍を切り落すハサミの驅使

4 防毒面の締め紐を作るプレス機も男に代つた彼女たちの職場。姉さん株の先輩がプレスの上下をハンドル一つで操作すれば、妹分の同僚は締紐の出

入れを受持つ

5 防毒面は出來上つた。さて、その機能に不備はないか、目、鼻、口から空氣が漏れはしないか、この防毒面氣密檢査も女の手

カフト　お國のため！　自分たちの働く價値を自覺する彼女たちは働く歡びを作業着に包む。新秩序の建設を進める若き女性の意氣は高い

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

大陸も繭景氣

支那蠶絲業復興し

クリークを利用して各地から乾繭が、無錫、杭州、蘇州等の製絲工場に送られてくる

コロンブスがアメリカを發見したことは誰でも知つてゐるが、コロンブスにアメリカを發見させたものが、印度の香料と共に支那の絹布であつたことは知られぬ人が多い。昔の作つた繭から生絲を繰り出して、あの優美な絹布を作ることを知つたのは、支那が最初で今から凡そ四千年も昔のことといはれてゐる。支那の絹布はその後、駱駝の背に乘つて、中央アジアの沙漠を越えシリア、ギリシヤ、イタリア、フランスに輸出されたが、東洋のこの旅はしい織物は西人を驚かし、常に彼等の憧れの的であつた。何とかしてこの絹布を求めたい、そしてできればこれを自分の國で生産したいというのが當時の西歐人の熱心な慾望であつた。かくして、印度の香料と共に支那の絹布を直接輸入したいと考へたコロンブスがゼノアの港を後にして、印度ならぬアメリカ大陸に到着したことは、あの事の大第であるといはれる。支那の蠶絲業はやうに世界で最も早く發達し、今日においても支那は日本と共に世界の二大蠶絲業國である。

支那で蠶絲業の最も盛んな地方は長江下流のデルタ地帶であつて、江蘇、浙江の兩省の如きは土壤内地の長野、群馬兩縣のやうに、省内何處へ行つても桑園があり農家の大部分は養蠶をやつてゐる。實にこの地方では養蠶は農家の重要な副業であつて、一戸當り耕作面積一〇畝内外（一畝はわが六畝）といふ小規模な經營をしてゐる農家の經濟にとつてこの養蠶收入は誠に重要なものとなる

これらの繭は農家で家内手工業的に製絲されるものも相當にあるが、大部分はクリークを繭船に積まれて上海、蘇州、無錫、杭州等の近代的器械製絲工場へと運ばれる。事變前この地方には三萬釜以上の器械製絲設備があつたが、特に注目すべきは海南線沿線の最大の商工都市無錫であらう

事變前諸介石は世界市場から日本生絲を驅逐する目的を以て、既に英米資本の植民都市となつた上海を棄てて、この無錫に最新式の製絲工場を設け、大いに支那製絲業の發達を圖らうとした。ところが今次の事變に當つて、諸介石がこれ等の都市において所謂焦土戰術を取つたために、近代的物質しつゝあつた製絲工場も殆んど完膚ない迄に破壞された。しかし、皇軍によつて治安の回復がその緒につくや、日支兩國蠶絲業の利害を調整して兩國蠶絲業の共存共榮を圖るために、日支資本の合作で華中蠶絲會社が生れ、戰火の爲に壞つてゐる中から中支蠶絲業の復興に努力した。そして今日迄に同社の手で

熱練した器用な手先で乾繭の山を選り分けてゆく姑娘

無錫地方の養蠶

姑娘たちのしなやかな指先で繊細な糸が巧に操られてゆく

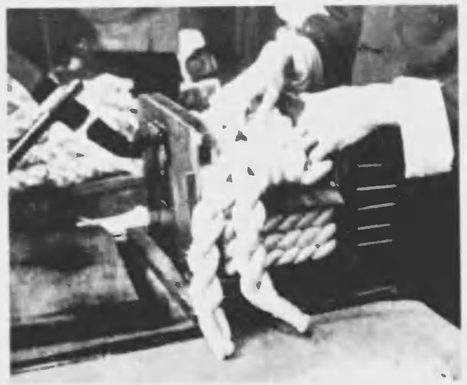
運轉を開始したものは十八工場六千餘釜に達し、製造生絲一ヶ年二萬俵以上に及ぶ現狀となつた

最近現地からの報告によると、中支の本年の春蠶の作況は近年にない好成績で、この地方の養蠶農民は滿足氣を滿喫してゐる

今日、世界市場に於ける生絲の需要量は約五〇萬俵であるが、その内訳は日支兩國で世界の八割を占めてゐる現狀である。ところで、この世界における生絲の需要は人絹や、ナイロン等の新興纖維に壓迫されて逐年減少の傾向にある。そこで、世界市場に對する生絲の二大供給國である日支兩國が相提攜して、東洋の特産物たる生絲の世界需要を維持增進させて、兩國蠶絲業の健全な發達を圖ることが東亞新秩序建設の具體的な一つの現れでなければならない

興亞院事務官　土屋四郎

撮影返場の姑娘達は皆と素早い眼で僅かな暇も見逃さない



繭を強くより上げて最後の仕上

輸出される生絲は濕氣や埃りを防ぐため嚴重に包裝される

撮影　上海フレスコ社

戰爭と支那と歐洲大

變

における皇軍の赫々たる戰果に比較されて驚愕すべきほどのものではない

先づ支那事變は現において北は北支の大きいウラル山以東の廣大な體をすべて無に歸さんとするまでの戰力をもつて從事してゐる東亞建設戰の歸趨を見失ふやうなことがあればまことに由々しい問題である

獨佛休戰協定が成立し、フランスは遂にドイツに降伏した。ドイツがフール大戰に於ける決定的な武力戰の大勢を制するに至つたことは、もはや何人も否定し得ないところである

ランダ、ベルギーを席捲し、殊にベルギー作戰のお蔭にベルギー軍英佛聯合軍百萬をフランドルの野に壓縮するなど、ポーランド作戰に於けるドイツの電擊的戰果は現在全く世界を驚嘆させてゐる

しかし、ここにドイツの戰果を中心とする歐洲の戰局に酔ひしれてゐる嫌ひがありはしまいか、即ち皇軍の赫々たる體驗に感激されて、現在われわれが總力をあげて從事してゐる東亞建設戰の歸趨を見失ふやうなことがあればまことに由々しい問題である

獨佛的といはれたドイツの戰果も、今次事變

ス人は十八萬の一、オランダ人は三百分の一、ベルギーは三百三十分の一と云はれ、以上四ケ國を合せてもなほ支那の八分の一に過ぎないのである

今度ドイツが獨佛軍を包圍した地域は九州より十萬平方粁以上もあり、その包圍線も南北合はして僅かに五百粁に過ぎないが、皇軍が支那で支持してゐる戰線は實に四千粁を越えてゐる

いま地域的にわか徐州作戰とドイツの蘭白作戰の局部的な地域を比較してみてもリエージュからダンケルクまで二百五十粁、豪兒鼎から開封までが三百五十粁。作戰日數はドイツは四週間わが方は徐州の南北包圍軍が行動を起してから僅か二週間で、その迅速さにおいては明らかに皇軍の方が勝つてゐる。またドーヴァー海峽は僅か四十粁であるが、わが長崎と上海の間は四百八十粁、所謂渡洋壓擊隊はこれを往復して南京を攻撃したのである

更に、カレー、ロンドン間は百二十粁であるが、上海重慶間が千四百粁、南京重慶間が千二百粁、漢口重慶間が約八百粁、その間をわが海陸の荒鷲が連日頻繁に往復して重慶壓擊を敢行

豐富な事が如何に戰局を左右するかは、支那事變においても、歐洲戰爭においても事實が證明してゐる

わが軍はスポーツを見るやうな興味本位の態度をもつて正しく歐洲戰局を認識し、豫測を許さない世界情勢の變轉に即應出來るやうに、益々軍備の充實に努め、一層新東亞建設戰遂行の決意を固めねばならない

してゐるのである

現在日本が支那大陸で占據してゐる地域は百三十萬平方粁で日本領土の二倍以上、この中には一億八千萬の支那人が住んでゐる。激しい戰鬪を續ける一方、長い間厳格な抗日訓練を受けてゐる支那人を宥撫して新秩序の建設に當らねばならないので軍の苦心は並大抵ではない

又、歐洲の戰場は大體平地で、その上鋪裝された道路が四通八達してゐる。軍の機動力を發揮する上において、山が多く、道路らしい道路のない支那とは比較にならない程である

以上のやうにすべての點に於て意條件にありながら、わが軍の戰果はドイツ以上のものであり、從つて從軍將兵の辛苦は言語に絶してゐる

ドイツの大勝の有力な原因にはその優秀な飛行機と戰車が數へられてゐる。勿論精神力の重要なことはいふまでもないが、近代兵器の優秀

ヘルキー機繰を征くドイツの重砲艦 鐵裝された組々たる道路かあれはこそドイツ海自慢の機械化兵團かその機動力を存分に發揮することかできたのだ

砲車も人も泥まみれ、膝を沒する泥濘が果しなく續く。嶮嶮、泥濘黃塵——これが支那の戰場の姿なのだ

地圖の見方

この左右、地圖は、歐洲大戰と支那事變の戰場の地圖で、距離その他を再認識していただくために、大體同じ縮尺で書いたものです。距離でいへば

ニューヨーク…ロンドン 三千哩
カレー…ロンドン 二百哩
東京…上海 八百哩
上海…重慶 千四百哩
南京…重慶 千二百哩
漢口…重慶 八百哩

また、地圖の色どりは、日本とドイツの占領地域、大體を比較したもので、支那事變が歐洲戰爭の作戰に比較していかに大規模かがお判りでせう

明治チヨコレート

健康輝かす
躍動の夏！

愉しい味と豊かな榮養の調和美

明治製菓株式會社

アルヘンチーナ號を迎へて

南米亞國の練習艦アルヘンチーナ號（七、六〇〇トン）は艦長アベラルド・バンチン大佐、副長ホセ・デレビアネ中佐以下士官卅名、士官候補生八十二名、准士官四十三名その他下士官兵百五十四名を乘せて去る六月廿日、わが官民の熱誠な歡迎を受けて橫濱に入港した

廿二日艦長以下親善使の一行は、わが海軍省を訪づれ、紀元二六〇〇年の奉祝記念の贈物として遙々携へた同國畫伯キンケ・タマルチン氏の力作になる名畫デア・デ・ソール（燃える太陽）を吉田海相に贈呈した

日亞兩國の國交は明治三十一年に締結された通商航海條約によつて始まり、現在の日亞貿易關係は逐年順調に發展してゐるが、特に忘れてはならないことは我が海軍と緣故の深いことである

それは明治三十七年の日露戰爭に際し、わが海軍が俄に軍艦を補充する必要に迫まられた時、一隻イタリアのゼノアに於て建造中であつたアルヘンチーナ號を橫濱に入港したアベラルド・バンチン大佐は海軍大臣室で長き邊りから贈與の勳三等瑞寶章を一等副官から傳達された（寫眞右端は吉田海相）

わが小學生の打振る日亞兩國旗に迎へられアルヘンチーナ號は橫濱に入港した

日露開戰の詔勅が下つて俾かに六日、わが國に實つてくれたことであつた

去る一九三三年亞國には日亞文化協會が設立され、この國の東鄕元帥ともいはれるメドク・ガルシヤ將軍が七十の老齡を獻はす會長となつたのである。日本海海戰に參戰武官であつた同將軍は當時僅に日本の今日あるを喝破して『日本は近き將來世界最強の國家となるであらう』と本國に報告したといふことであるが正しくその豫言は的中し、今やわが日本は押しも押されもせぬ世界の強國、東亞新秩序の建設に乘出してゐるのである。亞國も亦南米の覇者として躍進の一路を辿つてゐるけれども日亞兩國の傳統的親善關係は今後とも續けられるであらう

復習室

本號からあなたは何を學んだでせうか？

1 ハイダラバッドとは——サハラ沙漠の都市？ギリシャの大政治家？印度最大の土候國の名？（10頁）

2 北支の大阪といはれる都はどこでせう——青島？北京？天津？濟南？（12頁）

3 書航とは何でせう アトリエッ支那の屋形船？支那の有名な畫伯？（13頁）

4 世界の二大蠶絲業國をあげて下さい（21頁）

5 フランスの面積は支那の約何分の一に當りますか——二分の一？十分の一？十八分の一？（22頁）

6 左の各地間の距離を長い順から竝べて下さい。長崎 上海 漢口 重慶 カレー ロンドン（23頁）

7 支那事變記念日は何月何日ですか？（1頁）

8 支那の戰場が歐洲の戰場と違ふ點は——面積が廣い 道路が非常によい 平地である 山が多い 道路が悪い 雨は降る 面積が狹い？（11頁）

9 木綿グラビヤ頁の中で皇軍の戰車が盛んに猛攻してゐる門は何門でせうか？（1頁）

10 無錫とは——支那の錫の產地 新介石が生れたところ？中支にある工業地？（20頁）

一問十點としてあなたは何點でしたか

寫眞週報（禁轉載）

昭和十五年七月三日印刷發行

編輯兼發行者 內閣情報部 東京市麹町區永田町 內閣官房大臣官舍內
印刷者 內閣印刷局 東京市麹町區大手町

定價 一部十錢（送料共）
外國郵便に依る地域は（送料共一部十九錢）（外國郵便に依る地域は十九錢）の割合を以て前金を添へて下さい（郵券申込みを不可）
▲賣切御免の方は一部十錢（送料共）
▲特大號の場合は其の都度御拂込金より差額を申受けます

申込所 內閣印刷局發行課 電話九ノ內(33)三五一九 振替東京一九〇〇〇
全國各地官報販賣所 東都書籍株式會社 各書店・辭書店 各新聞販賣店 寫眞材料店

寫眞週報

★表紙

小さな胸に聖戰の詔へを深めて、日本の小學校に通ふ在京支那人小學生。新しい東亞に日本と協力して、これからの新しい歷史をつくるボクとワタシは、日本とも那との國民を仲よく持つて

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

寫眞週報　昭和十年一月十日　第一種郵便物認可　昭和十五年七月三日發行（毎週一回水曜日發行）　一部金十錢

内閣印刷局印刷發行

〔判倍報道〕A4格規定國はさき大の書本

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/